

事業番号	13 01 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	水道事業（用水供給事業）	部局	企業局	課・室	水道事業課		
		実施期間	S49～	E-mail	kigyo@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標							
総合的に展開する重点政策	2-5 地域に根差した産業の振興		4-1 県土の強靱化		4-5 地球環境への貢献		

1 現状と課題

<ul style="list-style-type: none">令和17年度以降に予定されている送水幹線の更新に向け、用水事業全体の投資計画を定め、必要な財源を確保する必要がある。水道法改正を踏まえ、水道の基盤強化を図るため、広域連携の推進等を図っていく必要がある。
--

2 事業目的

<ul style="list-style-type: none">将来にわたり安全・安心な水道水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立に向けた、未来への計画的な投資、人材の確保・育成と広域連携の強化受水市村に安全・安心な水道水を安定的にお届けできるよう、アセットマネジメント（長期的収支予測に基づく資産管理）を活用して施設設備の計画的な更新等を実施関係市町村等との連携を強化するとともに、地域における官民連携を推進近年頻発する大規模災害等を踏まえ、基幹管路の耐震化を前倒して実施するとともに、災害発生時における広域的連携を強化知事部局や市町村等と連携して設立した「長野県水道事業広域連携推進協議会」等において、広域化・広域連携等の取組を推進

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

① 未来への投資 <ul style="list-style-type: none">基幹施設耐震化（本山浄水場洗浄水槽耐震化工事等／基幹施設の耐震化目標：令和6年度100%）基幹管路耐震化（耐震化完了令和6年度→令和5年度）の前倒し老朽化対策の計画的な推進片平取水場の取水機能強化を図るための詳細検討
② リスクマネジメント <ul style="list-style-type: none">基幹施設耐震化・基幹管路耐震化の前倒し・老朽化対策の計画的な推進（再掲）片平取水場の取水機能強化を図るための詳細検討（再掲）
③ 地域への貢献・地域との連携 <ul style="list-style-type: none">改正水道法の趣旨を踏まえ、関係市町村等との広域連携に向けた取組を推進

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	経常収支比率	%	120.6	116.0	↘	108.3	↘	106.2	達成	財政計画に基づき経常収支比率100%以上を維持し利益を確保	
②	損益	千円	239,044	189,224	↘	108,526	↘	27,050	達成	財政計画に基づき経常収支比率100%以上を維持し利益を確保	
③	基幹施設（本山浄水場）の耐震化進捗率	%	90.0	90.0	→	90.0	→	90.0	達成	投資計画に基づく耐震化の推進	
④	管路の耐震適合率	%	90.1	92.6	↗	95.7	↗	96.7	未達成	投資計画に基づく耐震化の推進	
⑤											

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	205,605	2,299,002	19,543	2,524,150	0	1,929,383	13.0
R3年度	645,984	2,339,709	△ 10,482	2,975,211	0	2,538,110	13.0
R2年度	241,607	2,306,761	18,838	2,567,206	0	1,804,923	13.0

事業番号	13 01 03	事業改善シート（令和4年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	水道事業（用水供給事業）		部局	企業局	課・室	水道事業課		

6 主な取組実績と成果

未来への投資

東山支線管路耐震管布設工事 管路耐震化布設延長 1.4km
 本山浄水場急速ろ過設備制御盤取替工事他



リスクマネジメント

施設の更新時や維持管理上取水場への重機進入が必要となることを想定し、管理用道路の予備設計を実施した。

地域への貢献・地域との連携

広域化・広域連携の議論を含む「松塩水道用水供給事業に係る打合せ会議」を計4回開催したほか、受水市村に加え、安曇野市や朝日村を含む地域において広域化・広域連携に係る基礎資料作成の委託発注を行った。



7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	経常収支比率	R3年度推移	↘	R4年度推移	↘	達成状況	達成
施設の修繕計画見直し等による経費の減少により達成した。施設等修繕計画や委託発注計画の見直し、施設の適正な更新による経費縮小に努めていく。							
指標②	損益	R3年度推移	↘	R4年度推移	↘	達成状況	達成
指標①の分析のとおり。							
指標③	基幹施設（本山浄水場）の耐震化進捗率	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
排水処理施設の施工工程の見直しを行い、着実に進めている。							
指標④	管路の耐震適合率	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	未達成
資材価格等の高騰による施工量の縮小のため、目標値に届かなかった。経営状況への影響を考慮した上で、計画的に更新を行っていく。							
指標⑤		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題	
<p>用水供給事業の経営状況においては、動力費の高騰等、物価高による支出の増への対応が必要。 水運用においては、受水市村の状況と料金収入を考慮した供給量について検討が必要。 耐震化・老朽化対策事業においても、資材価格等の高騰に伴い、経営状況への影響と経営戦略の投資総額を考慮し柔軟に対応することが必要。</p>	
(2) 翌年度以降の事業改善の方策	
<p>安定的な水道水の供給が行えるよう、経費縮小や更新計画の見直し、適正な供給量及び料金体系の検討を行う。</p>	

事業番号	13 01 03	細事業一覧（令和4年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	水道事業（用水供給事業）		部局	企業局	課・室	水道事業課

細事業 No.	細事業名		R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	水道事業（用水供給事業）		1,804,923 千円	2,538,110 千円	1,929,383 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	施設設備の老朽化対策等の加速	直接委託	安心・安全な水道水を安定的に届けるため、施設設備の老朽化対策、耐震化を計画的に推進 本山浄水場老朽化設備更新 2箇所		
2	リスクマネジメントの推進	直接委託	大規模災害等に備え、施設・管路の耐震化の推進、片平取水場の取水機能強化を図るための検討の実施 管路の耐震化 L（延長）=1.5km		
3	水道事業の広域化等の推進	直接委託	持続可能な水道事業を確立するため、関係市村との財政シミュレーションを実施し、広域化・広域連携の検討を推進 関係市村との広域連携等検討会実施 4回		